



「茶色が好き」というご夫婦の要望に応え、色合い、質感、材質で茶色の3トーンを表現し、立体感が生まれます。

2階ホール全体の明るさをカバーする階段の窓。空をダイレクトに望む風情が奥様のお気に入りです。

白を基調にしたLDK。ワンフロアにすることで圧迫感をなくし、コストも削減。スリット窓で採光とデザイン性もアップ。

土間収納もしっかりと確保。壁を最小限に、窓の配置を工夫することで、広さも採光も確保した省スペース玄関に。

玄関は便利な引き戸。2階のベランダを大きな張り出しの雨除けとして利用し、玄関周りの利便さも追求しています。

階段下のデッドスペースとは思えない空間。専用の部屋をもらえてインコたちも大喜びの元気に飛び回ります。

限られた予算で最高の家づくりを実現！

上富田町の家・Y邸



- ▲LDKは素足が気持ちのいい無垢のフローリングを全面に。奥様憧れの対面キッチン。掃除もラクチンなタイル壁の向こうは、大好きな鳥部屋です。
- ◀日当たりのいい南面にメインフロアのLDKをデザイン。大きなウッドデッキをリビングの延長上に設けて、使い勝手も抜群に、開放感を出しています。



設計・監理 中道哲也 株式会社 スタジオパートナー

施工 巧細川組株式会社

撮影：アトリエワンデザインスタジオ 今西 浩文

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉 H25年8月～9月
〈実施設計期間〉 H25年9月～10月
〈見積もり依頼期間〉 H25年10月～12月
〈起工〉 H26年2月4日
〈上棟〉 H26年5月9日
〈完成・引渡し〉 H26年8月30日

住宅データ

家族構成／ご夫婦、お子さん1人  
 構造／木造在来軸組工法  
 建築面積／74.52㎡(約22.54坪)  
 延床面積／1F 66.54㎡(約20.04坪) 2F 45.54㎡(約13.77坪) 計 111.78㎡(約33.81坪)  
 敷地面積／234.30㎡(約70.87坪)  
 屋根／ガルバリウム鋼板タテハ葺  
 外壁／防火サイディング貼、リシン吹付仕上、杉羽目板張 OS塗装

設計・監理



モットー 建て主・施工者・設計者 三位一体  
**中道哲也** Tetsuyanakamichi  
 株式会社 スタジオパートナー  
 1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工



建て主さんの声

中道さんは初対面から明るく親しみやすい方で、家づくりに必要な過程等でも相談ののって下さり安心して家づくりを進めていくことが出来ました。巧細川組さんは生活の中での使いやすさや鳥部屋のことを細かに考えてくださいました。この鳥部屋とリビングの間に窓をつけたところや階段の大きな窓、リビングなどがとても気に入っています。建築家さんと工務店さんたちはどんな相談事でも丁寧に对应して下さいととても支えられました。そのため、私たち夫婦にとって思い出にのこる家づくりとなりました。家づくりの道筋をつくってくれた建てようネットに感謝しています。

「最近はおもう親心でしょうか(笑)。若いご夫婦を見ていると、ついつい応援してしまいたくなります。今回のお宅もまさにそんな感じ。建て主さんはもちろん、われわれ建築家も工務店も一緒になって頑張りましたよ!」この夏に完成した「上富田町の家・Y邸」について話す、株式会社「スタジオパートナー」の中道哲也さん。建て主ご夫婦が家づくりを考えたのは増税前のこと。「建てようネット」和歌山のバームランデー相談会にお立ち寄りいただき、後日「当社」のバームランデーで相談後、たまたま顔を覗かされた中道さんと、家づくりのいろいろについて相談したのがきっかけです。

お金のことや土地のこと、デザインや耐震、機能性までとにかく家づくりは考えることがいっぱい。それを一つ一つ説明し話し合いながら解決するのが建築家の役割。予算がなくてとか、土地が狭くてとか、ご自身の頭で考えて諦めてしまいう前に、好きなことを何でも言葉にして言ってみてください。当然、出来ること出来ないこととはありますが、デザインやアイデアでクリアできることもかなりあるんですよ。若い人からシニア層にまで、中道さんが支持される理由は、デザインだけでなく、施工管理から登記ローンなどのアドバイスまで、きめ細かい対応と、要望に対するフットワークの軽さ。御坊事務所を拠点に、和歌山事務所、田辺事務所と、地域に寄り添うコミュニケーションを大切に、デザイン力とチームワークで県内外に活動の幅を広げています。

建坪は約33坪。将来の家族構成を考慮して希望した間取りは4LDK。その中に奥様は、大好きなインコと暮らせる部屋を要望。ご主人は趣味部屋が欲しいとのことでした。実はご主人が鳥アレルギーで…。健康面や衛生面などを考えると、一緒に生活することが難しいため、専用の鳥部屋を設けることにしました。スペース的な問題を解決するために、階段下のデッドスペースを利用。LDKに面した覗き穴からはいつでも鳥たちの様子が伺えます。奥様に、鳥部屋へのこだわりを見せる中道さんの姿に感動。奥様はできる限り低予算で、私たち夫婦の願いを叶えようと、さまざまなお案を出し、支え続けてくれました。皆さんがどんな相談にも耳を傾け、丁寧に对应してくれたことに感謝しています。私たちにとっても思い出に残る家づくりでした。

限られた予算で最高の家を作るのが建築家との家づくり。夢のマイホームへの第一歩が「建てようネット」にあります。

建てようネット  
【和歌山】で建てた  
新築  
第84号